

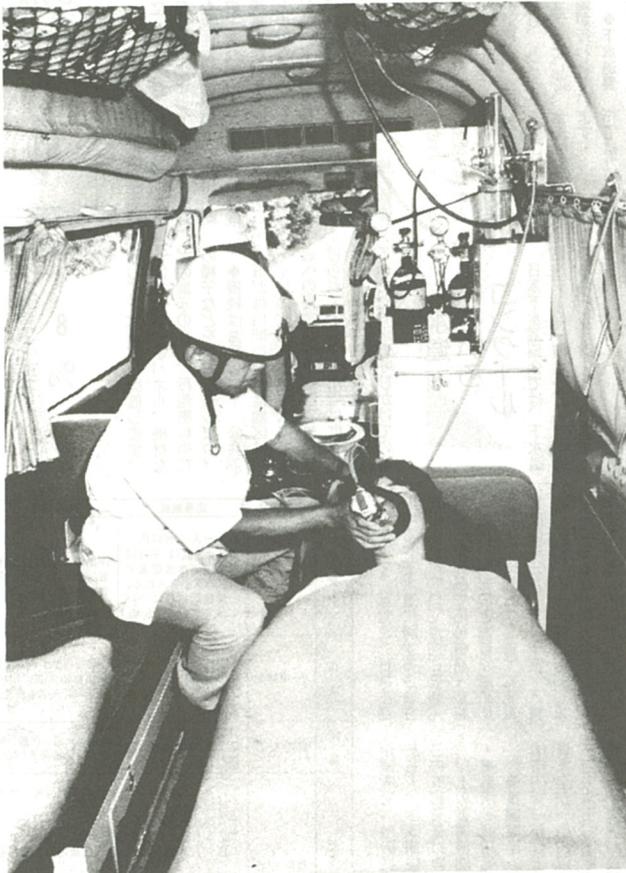
世帯と人口
(平成3年8月1日)
世帯 36,073 (+126)
人口 107,613人 (+172)
男 55,431 女 52,182

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

9月9日は救急の日

救急車の利用は正しく



まさかの時にあなたの命を守る救急車。24時間体制で活躍しています

出動回数は過去最高

九月九日は「救急の日」です。近年海老名市は都市化による人口・交通量の急増から、急病・交通事故などの救急活動が増え、救急車は二十四時間体制で、フル回転の活躍をしています。救急車は、一刻が必要な方に応急手当をし、医療機関に運びます。正しい利用を心掛けましょう。

42人に1人が利用

昨年の海老名市の救急出動件数は、過去最高の二千五百一件で、二千四百四十五人を病院に搬送しています。一日平均の出動件数は六・九件、三・五時間に一回出動し、市民の約四十二人に一人が救急車を利用したことになります。利用の内容は、急病が千百九十六件(全体の47・8%)、交通事故が六百四十二

件(同25・7%)と全体の七三・五%を占めています。このように、救急車は毎日忙しく市内を走り回っています。多くの方に利用されている救急車ですが、中には簡単な応急手当をすれば済むものや、容易に医療機関まで行けるといった患者が数多く見られました。救急車は、生命が危険にさらされるなど、一刻を争う手当が必要な方に応急手当をした後、医療機関に運ぶことを目的としています。

依頼する時には

救急車を利用される場合は、次のことを必ず守るようお願いいたします。

▽一九番で救急車を依頼する時は、場所、目撃、患者の容体、通報者の氏名、電話番号をはっきり伝えてください。

▽出庫や、あらかじめ入院予定日が決まっている方などは、原則として取り扱いません。

▽病院に収容されても、入院が必要ない方の場合は、救急隊が現場に到着した時点で、救急隊に聞いてみまいた。

市消防本部には、毎日さまざまな救急の出動要請があります。これらの中には、救急隊員が首を傾げる場合が少なくないです。実例をいくつか、救急隊員に聞いてみました。

サイレンが聞こえる前に やけどを負ったらすぐに応急手当



やけどの手当てで大事なことは感染の防止、苦痛の軽減などです。軽いやけどは自宅でも治療できますが、救急車を呼ぶようなやけどをおったときは、救急車が到着するまでの間に次のような応急手当をしておいてください。

- ① 応急手当の方法
 - ① すぐに水道の水などで冷やすこと。多量の水がない時は、清潔な布に浸して患部を冷やしてください。
 - ② 十分に冷やした後は、細菌感染を防ぐため、滅菌ガーゼや清潔な布で患部を覆ってください。脱脂綿のような細かい繊維のものは使わず、また、水ぶくれはつぶさないよう注意が必要です。
 - ③ みそ、しょう油などは絶対に患部には、ぬらないでください。また、タンク油なども後の治療の妨げになりますので使用しないでください。
- 以上のような応急手当をして救急車の到着を待ってください。

「どちらですか?と尋ねると、立っていた本人が患者だった。」

「病気がたわかっていて病院に行かず、夜になって悪化し救急車を要請する。」

「同じ人が何回も要請してきました。家に車がないため、タクシー一代わりを利用した。」

「現場に到着し搬送先の病院が決まったところで、特に理由もないのに、他の病院に回して、とされた。」

「以上のような使い方は、おめです。救急隊にお願いいたします。」

市社会福祉協議会から

ご参加ください 社会福祉大会

9月27日(金)午後1時

市総合福祉会館で(入場無料)



筆記通訳・講演・高字・手話
各種講習会の
参加者を募集

▽第一部：式典 第二部：講演
「人生ってさあいつ」 講師
幸田博三氏 第三部：演芸 雷門五
郎・牧伸二出演 入場整理券は市
総合福祉会館内市社会福祉協議会
(31・4122)で配布中。当日
同館ではお年寄りの介護機器展(午
前10時~午後4時)を開催します。

①筆記通訳：聴覚障害者の
方に筆記による通訳を行うた
めの初歩的な技術と、聴覚障
害者の方との接し方などを学
習。▽日時：9月25日(毎週
水曜日(全5回)) 昼の部は午前10
時~12時、夜の部は午後7時
7時~9時。▽会場：市わか
ば会館

②講義 視覚障害者の
方の安全な通訳の仕方と接し
方の配慮などを実技を交えて
学習。▽日時：10月1日(毎
週火曜日(全8回)) 午後1時
半~3時半。▽会場：新中田コ
ミュニティセンター

③手話 手話の初歩的な点
字技術を学習。▽日時：9月26
日(毎週木曜日(全10回)) 祭
日は除く。昼の部は午前10時
~12時、夜の部は午後7時
9時~9時。▽会場：市わか
ば会館

④手話 初歩的な手話
を学習。▽日時：9月30日(毎
週月曜日(全5回)) 昼の部
は午前10時~12時、夜の部
は午後7時~8時半。▽会場
市総合福祉会館

※申し込みは①~④とも市
社会福祉協議会(31・41
22)へ。

調査 より良い 家庭生活を求めて

お父さん

子育てに 関する悩み

子育てに関する悩みについて
は、約四一%の父親があると
答えています。この悩みを傾向
別にみると次のようにな
ります。

①子供の態度・生活に
関する悩み：子供が反抗
的、自立心がないといっ
た内容は母親の悩みと共
通しています。しかし、
基本的な生活態度につ
いては、という母親に
は少なかつた悩みを多く
の父親が抱いており、子
供が忙し過ぎる、夢や希
望を持っていない、とい
った悩みが少なくありません。
悩みが少なかつた父親のほ
うに多くみられました。また、

親子の時間が足りない

②社会・進路に関する悩
み：子供が勉強をしないこ
と、これにたいして進路に関
する悩みが占めてい
ます。

③学歴重視、社会状況の
悪化など、母親には少なかつ
た悩みのほか、進学す
るための教育費が高くな
る、といった経済的な面
での父親の苦勞がうかがえま
す。

④「つた」悩みを体系的
的にみると、父親は子供を
伸ばし伸ばしと育てたいと思っ
ているが、周囲の環境がそ
れを許さず、父親自身も仕
事が忙しくて子供のことは母
親にまかせがちで、その結果、子
供の気持ちがつまみ悩んで
いることがうかがえます。



毎日の出勤

子育てに関する悩みの全体的傾向

悩みの内容	0	10	20	30	40(%)
子供の態度・生活に関する悩み					36.8
親の態度に関する悩み					41.1
勉学・進路に関する悩み					23.4
社会・学校に関する悩み					23.3
家族に関する悩み					19.4
					25.5
					17.4
					3.0
					2.6

家族だんらんを切望!

子供との ふれあいは

父親不在の家庭、といわれ
て久しいですが、今回の調査で
象となった父親の八四%が子供
とのふれあいを求めていると
答えています。

もっているか答えた父親の多
くが、仕事が忙しさが原因とい
う理由がほとんどで、親との行
動を減らさず、今回の調査で
象となった父親の八四%が子供
とのふれあいを求めていると
答えています。

もっているか答えた父親の多
くが、仕事が忙しさが原因とい
う理由がほとんどで、親との行
動を減らさず、今回の調査で
象となった父親の八四%が子供
とのふれあいを求めていると
答えています。

家庭生活に 望むこと

よむか家庭生活を楽しくた
めに何を望んでいるか、設問に
は、家族だんらんの時間を増や
したい、といった要望が最も多
く約二七%を占め、次いで、家
族全員の健康に気を配り明るい
家庭生活を営みたい、子供の悩
みや相談などに子供の立場にな
って考えてほしい、生活設計につ
いて夫婦で話し合えるなど夫婦
が円満でありたい、と続きます。

このように、要望の大半が子
供や家族に関するもので占めら
れていることが、一、一家の大黒
柱としての責任感や責任感がう
かかれますが、同時に家族が
旅行をしたり、親子で共通の
趣味を持つて一緒に遊びたい、
という要望も目立っています。こ
ういった家庭で子供とふれ
あう機会が少ないことが、こ
ろころで指摘されています。

お父さんは忙し過ぎる!?

家庭生活は 楽しい?

欠かせない家庭の対話

現在の家庭生活が楽しい、と
答えた父親の半数以上が、家庭
が心身ともに健康で元気に過
している、会話の機会が多くな
って会話の雰囲気がある、をそ
の理由として挙げています。

一方で、家庭内は明るくは
なからず、父親は忙し過ぎる、
わがやが忙し過ぎる、母親の時
間がない、などが上位を占めて
いることが、多くの父親が、
家族が健康で明るく互いに信頼
関係を結ばれていて、心のやす
らさが得られること、充実し
た家庭生活を求めていること
がうかがえます。



も家族のことを思えばこそ...

ほめるとき しかるとき

子供の「頑張り」を評価

どんなときに子供をほめたり
しかつたりするか、自由記述で
答えてもらったところ、忙し
な母親の家事を手伝ったり、父
人に言われたことも進んで良い
に努力して一つのことをやり
遂げ、勉強やスポーツに良い結
果がでたなど、子供が優しさを
発揮したり頑張りを見せたとき
にほめる、という父親が約七一
%を占めました。

これを去年の母親の意識調査
と比較すると、ほめる理由はほ
ぼ同じような傾向がみられま
す。

家庭生活に関する満足度

	小学生の父親	中学生の父親	合計
たいへん楽しい	262 (26.3)	87 (23.0)	349 (25.4)
まあ楽しい	436 (43.8)	148 (39.1)	584 (42.6)
ふつう	264 (26.5)	125 (33.1)	389 (28.3)
あまり楽しくない	47 (1.7)	11 (2.9)	58 (4.2)
ぜんぜん楽しくない	2 (0.2)	1 (0.3)	3 (0.2)
無答	14 (1.5)	6 (1.6)	20 (1.5)
合計	995 (100)	378 (100)	1,373 (100)



健康で明るい家庭は心のやすらぎ

調査の方法

調査は平成二年六月二十二
日から七月二日にかけて行わ
れ、対象者は小学校三校中
六校の一年生から六年生の父
親九百九十五人、中学校六校
中四校の一年生から三年生の
父親三百七十八人を抽出しま
した。

調査の目的は、市内の小中
学生の父親が毎日の家庭生活
をどのように見守り、何を望
んでいるのかを把握し、その
父親から影響を受けている児
童生徒の理解と指導の手がかり
とするためでした。

調査内容は五項目からなり
たっています。①家庭生活は
楽しいか楽しくないか②どの
ようなときに子供をほめたり
しかつたりするか③子育てで
の悩みや困っていること④
子供とのふれあいをしている
か⑤より良い家庭生活を築く
ために実行したいことは、を
設問し、選択式もしくは自由記
述で回答する質問紙調査法を
用いました。

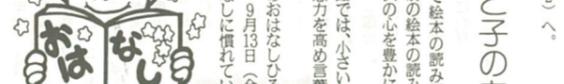
市制施行20周年記念 海老名市民音楽祭



第6回海老名市民音楽祭が、9月23日(月)
正午から市文化会館で開催されます。
この音楽祭は、海老名市民音楽祭実行委員
会(渡辺左由史委員長、23団体)が主催する
もので、邦楽、合唱、器楽の3部門で構成され
ており、市内のアマチュア音楽サークルが日
ごろの成果を発表するため企画しました。
今回は市制施行20周年を記念し、桐明学園
大学教授で二期会会員の佐藤雅子さんが特別

出演します。演出も素晴らしい誰でもが楽し
めるこの音楽祭に、ご家族そろってご来場く
ださい。入場は無料です。
<出演団体> (出演順)
邦楽の部 中心荘チェリーズ・琴安サン
ブルとおく・Try-Angle・菊間会・
海老名三曲「秋和会」・海老名三曲「春風会」
・由香和会
合唱の部 玲珠の会・ミルテの花女声合唱
団・コル慶泉・コルえびな・菊間会
・イエローフラワーズ・つげの木コル
女声合唱団「杉」
器楽の部 子供ヴァイオリンクラブ・アル
カディアフルートアンサンブル・海老名中
学校吹奏楽部・海老名市民吹奏楽団
※フィナーレには、入場された方がたもま
じえた全員による合唱を行います。

母子のおはなし会



ご家庭で絵本の読み聞かせをしていらつちやいます
か。寝る前の絵本の読み聞かせは、母子のふれあいを
深め、子供の心を豊かにしていくのに重要な機
会です。
市図書館では、小さいころからの読み聞かせを通し
て、子供の想像力を高め言葉の豊かさにしていきたいと願っ
ています。
母子のおはなし会は、お母さんもお父さんもお子さん
も一緒に参加してください。
▽日時：9月13日(金) 第一部 午前10時~11時 50分
第二部 午後2時~3時 50分
11月20日(金) 第一部 午前10時~11時 50分
第二部 午後2時~3時 50分
▽会場：市図書館2階視
聴室7号図書室 絵本の読
み聞かせ、紙芝居、パネ
ルシアター、指人形を使
ったおはなし。▽対象
未就園児とお母さん▽希
望者は市図書館へお問い合わせ。市図書館(31

巡回おはなし会

市図書館では、同館から遠い地域のお友達にも、おは
なしの世界の楽しさを知ってもらうため、巡回おはなし
会を開きます。おはなしには、自分で本を読んだこと
とは違つた面白さがあります。お友達を誘ってご参
加を、絵本の読み聞かせに興味のあるお母さんもお父
さんもお子さんも一緒に参加してください。
▽日時：9月20日(金) 午後3時20分~3時50分
▽会場：河原口児童館▽内容：おはなし、絵本の読み聞かせ、
紙芝居など。▽対象：4歳以上のお子さんとお母さん
希望者は市図書館へお問い合わせ。市図書館(31

図書館から

海老名市が「平和都市」を宣言して、今年で6年目
この間市では、市民のみならず平和について理解を
深めて頂くために、さまざまな平和事業に取り組んでき
ました。今年度は市制施行20周年を記念して、タレント
のアグネス・チャンさんによる平和講演会と、歌手の岸
洋子さんによる平和コンサートを次のとおり開催しま
す。ぜひご参加ください。
▽日時・場所：12月8日(日) 午後2時(開場は1時
半) 市文化会館ホール▽内容：1部 平和講演会「みん
な地球に生きる」・講師 アグネス・チャン 2部
平和コンサート・出演 岸洋子▽対象：市内在住の
小学生以上の人。2歳以上の未就学児童を会場でお預か
りします。希望者は申し込みの際、児童の名前、性別、
年齢(ハガキに住所、氏名、ふりがな付き)、性別、年齢、
電話番号を記入し、10月15日(必着)までに企画課「平
和講演会・コンサート」係(勝瀬175)へ、応募者多
数の場合は抽選、結果は返信用ハガキで連絡。返信用ハ
ガキには郵便番号、住所、氏名の記入をお忘れなく、申
し込みは1人枚まで、ハガキ一枚には1人分の記入に
限ります。▽問い合わせは同課(内函)

市制施行20周年記念 平和講演会・ コンサート



12月8日 午後2時
市文化会館ホール
入場無料

フォトピックス

親子で深夜の散策

ウォークラリーに20人

八月十七日の深夜、懐中電灯



懐中電灯と地図を手に市役所を出発

と地図を頼りに市内十二のコースを回る「親子ナイトウォークラリー」が行われ、五十九組二百十人が参加した。子供の決断力や忍耐力を高め、同時に親子の交流を深めようと開かれたもので、今年で七回目。出発地点の市役所に集合した参加者は、四コースに分かれて午前零時に出発。途中のチェックポイントで「神社横にある古墳の名称は」、「小学校の西側にある坂道の名称は」などの問題を解きながら、真夜中の散策を。肌寒さを感じるような天候ではあったが、午前五時前には全員が市役所にゴールした。

約2千200人が来場

蚕のサマースクール

「産れてみよう蚕」と題してテーマに、八月七日と八日の二日間、県蚕業センターでサマースクールが開かれ、親子連れなど約二千二百人の来場者でにぎわった。同スクールは養蚕を理解してもらうと同時に、生きた理科の学習と親子の触れ合いの場を提供しようとして毎年行われているもので今年も二



川遊びを楽しむ子供たち

十一回目。映画「カニコの一生」の上映や絹製品の展示のほか、講から糸を紡ぐ「手回し糸繰り」、真綿作り、購入の形作りなどの体験コーナーも開設され、子供たちは興味津々。会場のあちこちにたかりができて、楽しく有意義な夏休みのひとときを過ごしていた。

集団生活を体験

インリダー研修会

八月八日から十日までの三日間、県立藤野青少年の家で「インリダー研修会」が行われ、市内各地区の子ども会から、五十五人の小学生が参加した。この研修会は、子供たちに集団生活を通過して仲間たちとともに行動する楽しさを体験させ、自主的に行動する力を身につけてもらうと毎年開かれていた。研修期間中は、予定された日程を順調に消化。子供たちは、いかたを使ったり川遊びや竹製のしし、コップ作り、キャンプファイヤー、自炊などに積極的に取り組んだ。特に自炊では、与えられた材料を基に自分たちでメニューを考え、貴重な体験をしたようだった。

花瓶などを制作

親子の陶芸教室で

七月二十日と八月二十日に彩久保小学校で、また、七月三十一日と八月十九日には今泉小学校で「親子の陶芸教室」が開かれ、合わせて十五組五十人の親子が参加、思い思いの作品を焼き上げた。

「陶器を作りながら親子の交流が図れる」と毎年好評のこの教室は、一回目に成形機と素焼



絵付けを行う参加者(今泉小学校で)

完成した作品は、青色や緑色で彩られた湯飲み茶わんや花瓶、菓子皿など。自分で作った陶器を目的前にして、「さっそく家を使ってみよう」と満足げに話し合う親子の姿も見られた。

海老名むかしむかし

333・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。8月24日-9月6日 第96話 海蔵寺と日朝上人 9月7日-9月20日 第97話 馬賢の土産



第263話 震災美談

今回は、関東大地震の混乱のさなから生まれたいくつかの美談を紹介したいと思います。

△その一▽

大正十二年九月一日、震災、際別壊家屋内ヨリ免火シ事安河内麻吉から、下今泉の伊波菊次郎翁に贈られた現状の言葉である。



庄全和尚が増全寺の門内に建てた碑

名古屋地区十八戸の玄米を一手に引き受け、遠く勝安(相模原市)の水車まで運搬の労を受けられた。

△その二▽

この惨状を目の当たりにした河原口の飯島庄三郎翁は、せめて一人一人すつても渡れるようにと、自宅の三間半梯子と隣家から借りた二間半梯子を繋ぎ合わせた。

市内に於ける地震の被害は、相模川沿岸地帯が甚だしかったが、その中でも中新田地区が最も激甚を極めた。全戸数百二十戸に達した全戸、残り十一戸も半潰で全滅に等しかった。人身被害も二十四人の生命を奪われ、重傷者も二十三人に達しその被害も村内随一であった。こうした災害に対し地元増全寺の玉城全和尚は、私費を投じて中新田分教場の全児童に対してノートと鉛筆を、

台菊翁は、時の佐藤房高市長から、大正十三年三月三十日付で次のような感謝状を受けられた。

「大正十二年九月大地震の際、相模川沿岸地帯が甚だしかったが、その中でも中新田地区が最も激甚を極めた。全戸数百二十戸に達した全戸、残り十一戸も半潰で全滅に等しかった。人身被害も二十四人の生命を奪われ、重傷者も二十三人に達しその被害も村内随一であった。こうした災害に対し地元増全寺の玉城全和尚は、私費を投じて中新田分教場の全児童に対してノートと鉛筆を、

こうした状況下、菊翁翁の具体的な活躍ぶりには定かたは

なく惜しまれるが、察するに感謝状にうたがったある救済の件は、村当局が被災者百二十戸、七百七十六人に対し、十六石九斗(42俵一斗)の玄米を数日間の計画で大字ごとに炊き出し配給した由であるから、この面に深く関与されたのではなかろうか。

次に復興に尽忠とあるのは、公共施設や道路橋梁などの復旧に熱心協力したのではあるまいかといふにすぎない、その実績を明らかにしておきたいものである。

(追記)

①海老名小学校長中山毎吉先生も大震災に際し、危険を冒し小学校の免火予防に努力した際をもって翌年四月一日付で県知事より褒状を、また同年十月三十一日付で宮台翁と同様の感謝状を受けとられている。

②この美談の主の人名で、菊次郎と菊翁、庄三郎と庄全、和向とそ、まことに慈悲善善の人といふべきであらう。

△その四▽

今は故人である上河内の宮

大正十二年二月二十一日に開

通式を挙げた相模橋は、この

大地震に中央の約橋の三連を

残して、厚木側の木橋部は橋

の所からへし折れ、東部海

老名側の木橋部はもの見事

に河原へ落下してしまつた。

このため、県史交通の大動脈

である旧国道二四六号線はこ

こで断ち切れ、その機能を

失ってしまった。

この惨状を目の当たりにし

た河原口の飯島庄三郎翁は、

せめて一人一人すつても渡れ

るようにと、自宅の三間半梯子

と隣家から借りた二間半梯子

を繋ぎ合わせた。

地区の全戸に対しては手ぬぐい一筋と縫い針に縫い糸を添え、

「この縫い糸のように細く長く復興を図ってください」と、自ら配布して回り、地域住民を慰問激励されたのであった。

また、震災から四年後の昭和二年八月、庄全和尚は寺の門内に高さ百二十六尺、幅七十五尺、厚さ十三尺の山台石に「大正拾貳年九月一日震災横死之霊」の文字を、その左右に死生焼死の方々の氏名を年輪順に刻んだ碑を立て、その冥福を祈られたのであった。

和向とそ、まことに慈悲善善の人といふべきであらう。

△その四▽

今は故人である上河内の宮

大正十二年二月二十一日に開

通式を挙げた相模橋は、この

大地震に中央の約橋の三連を

残して、厚木側の木橋部は橋

の所からへし折れ、東部海

老名側の木橋部はもの見事

に河原へ落下してしまつた。

このため、県史交通の大動脈

である旧国道二四六号線はこ

こで断ち切れ、その機能を

失ってしまった。

この惨状を目の当たりにし

た河原口の飯島庄三郎翁は、

せめて一人一人すつても渡れ

るようにと、自宅の三間半梯子

と隣家から借りた二間半梯子

を繋ぎ合わせた。

この惨状を目の当たりにし

た河原口の飯島庄三郎翁は、

せめて一人一人すつても渡れ

るようにと、自宅の三間半梯子

と隣家から借りた二間半梯子

(池田 武治)